

## 第5学年 国語科学習指導計画

### 1. 単元名 説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう

教材名 「天気を予想する」 武田康男 (指導時期：11月中旬)

### 2. 単元の目標

- ・ 筆者が伝えたいこと、論の進め方、図表などの活用について考えをまとめて発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- ・ 筆者が伝えたいことを考えながら読むことができる。
- ・ 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。

### 3. 指導計画 (全6時間)

時	おもな学習活動 (第二課題は●)	◎指導上の留意点 ☆評価
一次	<p>1</p> <p>○天気に関わる経験や、天気予報について知っていることなどを話し合う。</p> <p>○「天気を予想する」を読んで、初めて知ったこと、説明が分かりやすいと思ったことなどについて感想を書き、交流する。</p> <p>○学習課題「説明のしかたの工夫を見つけ話し合おう」を設定し、学習計画を立てる。</p>	<p>◎筆者の表現の工夫について取り上げ、単元の学習課題につなげる・</p> <p>◎筆者の表現の工夫に着目する学習であることを共通理解させる。</p> <p>☆天気や天気予報について、自分の経験や知識を進んで話し、興味をもって文章を読んでいる。</p>
二次	<p>2</p> <p>○文章中の三つの問いと答えの文を書き抜いて表に整理し、それぞれどのように関連しているかを考える。</p> <p>・三つの問いと答えは、順接的につながっているので順番を入れ替えることができない。</p> <p>・三つ目の答えが、筆者の一番伝えたいこと(要旨)につながるようになっている。</p> <p>・読み手の考えを、一般的な問いからだんだんと筆者の主張へと近づけている。</p> <p>●第3段落の内容を「～によって、・・・が——になりました。」という一文に書き換える。</p> <p>3</p>	<p>◎読み手の思考の流れに沿いつつ、次第に自分の主張へと近づけるような論の展開に気付かせる。</p> <p>◎「～によって」に要因が書かれていることを確認し二つ目の理由を一文にまとめる。</p> <p>☆的中率がどうして高くなったのかを読み取り、一文にまとめることができる。</p>
	<p>4</p> <p>○文章以外に用いられている資料を分類(表・写真・</p>	<p>◎P148「グラフや表を読む」を読み、グ</p>

	<p>図・グラフ)する。</p> <p>○P138 の表や P142 のグラフを見て、それぞれの資料の題名から何の資料かを確認、表の項目やグラフの縦軸と横軸が何を表しているか確かめる。</p> <p>○P138 の表やP142 のグラフの説明をしている文と、表やグラフから読み取れることが書いてある文を探す。</p> <p>●P143 の「・・・局地的な天気の変化・・・」の後に局地的豪雨のグラフを見て、具体例を書く。</p> <p>5 ○筆者が表・写真・図・グラフを使う意図や、それらが読者に与える効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表やグラフには具体的な数字が書いてあるので分かりやすい。</li> <li>・表やグラフから、変化の様子や違いがはっきり分かる。</li> <li>・表やグラフの数値から、筆者が説明していることが本当のことだと分かる。</li> </ul>	<p>ラフを読むときに気をつけることを確認する。</p> <p>◎自分が「天気を予想する」の筆者になったつもりで書く。</p> <p>☆図やグラフの説明で用いる表現を、自分で使うことができる。</p> <p>◎表やグラフは主に文章に書かれていることを裏付けるものとして用いられ、図や写真は文章に書かれてないことを補うものとして用いられていることを理解させる。</p> <p>☆表・写真・図・グラフの使い方について、筆者の意図やその効果に気付いている。</p>
三 次	<p>6 ○筆者の一番伝えなかったこと(要旨)がどこに書かれているか確かめる。</p> <p>○筆者の伝えなかったこと(要旨)や、筆者の説明のしかたについて自分の考えを書きまとめ、交流する。</p>	<p>◎筆者が伝えなかったことと、それに至るまでの論の進め方や説明の仕方の工夫などについて書かせる。</p> <p>☆筆者が伝えなかったこととその根拠となる事実をとらえ、説明の仕方の工夫について書きまとめている。</p>